

使用後の手入れと保管

①作業が終わったら

- 1) タンク内の残液を払い、清水できれいに洗い流してください。
 - 2) 再度タンクに清水を入れ、コックを開いた状態でピストンを上下して、握り付ホース、コック、ノズルパイプ、噴口部に残った残液を洗い流してください。
- ⚠ ※ピストンの加圧操作を止めても、空気室～握り付ホース内に圧力が残っていることがあります。この状況で接続部を取り外すと、薬液が噴き出す恐れがありますので、接続部を外す前に周囲の状況を確認し、コックを吐出状態として、空気室～握り付ホース内の圧力を抜いてください。
 - ⚠ ※空気室内部に薬液が残っていると、吸入弁の固着原因になりますので、洗浄作業は充分に行ってください。
 - ⚠ ※余った薬液及び、機械の洗浄水は、河川、水源地、下水等に流入して被害を及ぼさないよう、薬害のない方法で処分してください。
 - ⚠ ※前回使用した薬液がタンク、握り付ホース、噴口等の内部に残っていると、薬害を起こす危険性があります。特に、除草剤散布に使用した後、一般防除作業に使用する場合は、残っている薬液を充分に洗い流してください。また、タンク内に残った薬液は、タンクを腐食させ薬液が漏れる原因にもなりますので、洗浄作業は充分行ってください。
- 3) 使用後は次回の噴霧作業に備えて、ピストンの金属部、L型パッキンに少量のエンジン油、またはギヤ油を塗布してください。

②保管

⚠ 保管は、屋内の直射日光が当たらず、風通しの良い、子供の手の届かない場所に保管してください。

※プラスチック部品は、直射日光に長期間さらされると、著しく強度が低下することがあります。また、注意ラベルも変色したり、はげやすくなったりしますので保管には充分注意してください。

故障と修理方法

内容	原因	処置
ピストンの動きが悪い	●ピストン、L型パッキンの油切れ	○ピストンの金属部、L型パッキンに少量のエンジン油または、ギヤ油を塗布する
ピストンが上がらない	●吸入弁の固着	○吸入弁に軽い衝撃を加え、吸入弁の固着を外す
ピストンが押し戻される	●空気室下部一式の不具合	○新品と交換する
液の出が悪い または、 噴霧状態が悪い	●吸入弁へのゴミの付着 ●空気室下部一式の不具合 ●吸入弁一式の不具合 ●ノズルキャップへのゴミの付着	○吸入弁を外して掃除する ○新品と交換する ○新品と交換する ○ノズルキャップを外して洗浄する
グランドナット部からの液漏れ	●グランドナットのゆるみ ●L型パッキンの劣化、老化	○グランドナットを締め付ける ○新品と交換する
各ネジ部からの液漏れ	●ネジのゆるみ ●パッキンの劣化、老化	○充分締め付ける ○新品と交換する

- ⚠ ※けがをする恐れがありますので、タンクの中に手を入れないでください。
- ⚠ ※作業中噴口部を清掃する場合は、顔面等に薬液がかかる恐れがありますので、必ずコックを停止状態とし、噴口部を取り外してから行ってください。

※Oリングを交換する際は、必ずOリング全面に注油してください。
 ※注油にはエンジン油、または、ギヤ油を使用してください。
 ※上記処置を行っても直らない場合、または、上記以外の症状の場合は、販売店にご相談ください。

最終決定

取扱説明書

肩掛噴霧機

●5型
●10型

ASB 株式会社 麻場
 〒381-8530 長野県長野市北長池1443-2
 ☎026(244)1317
 URL <http://www.asaba-mfg.com>

用途

- 庭木の殺虫・消毒に
- 園芸用・観賞用植物への散水、殺虫、殺菌剤の散布に
- 野菜、果実、草花等へのホルモン剤の散布に

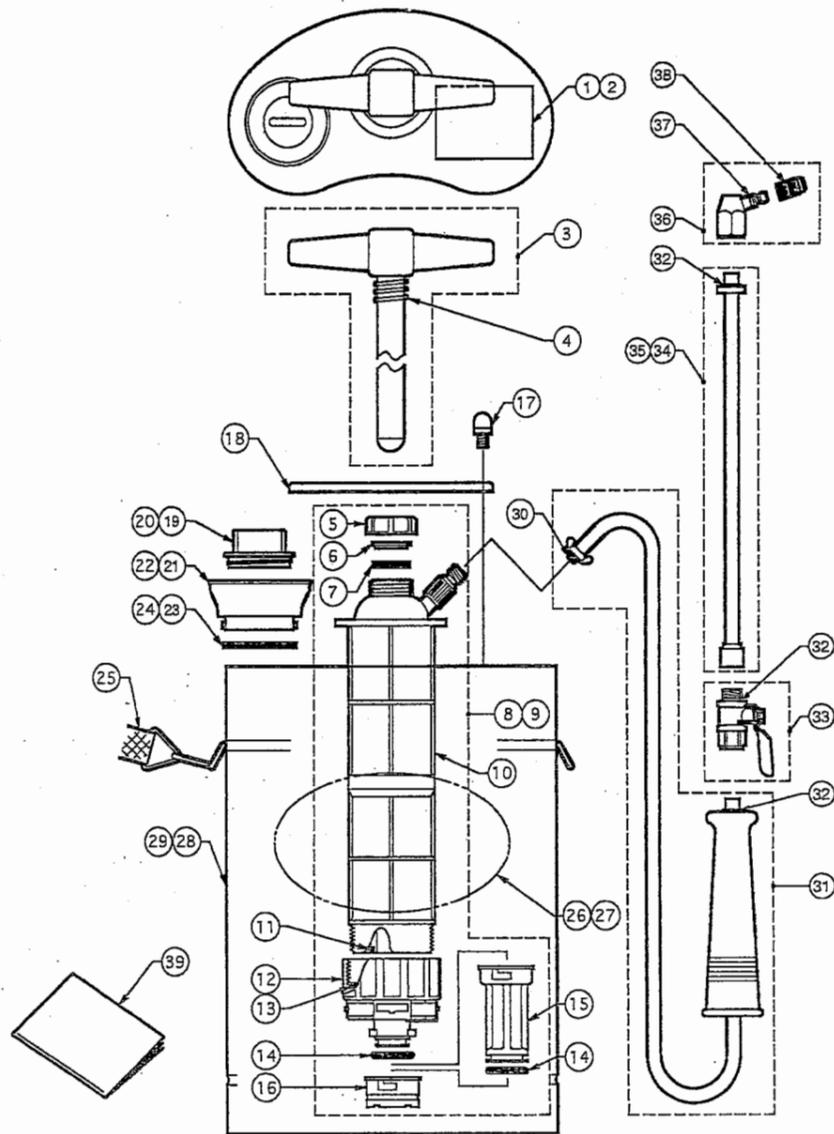
このたびは肩掛噴霧機をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。この取扱説明書には、安全に使用していただくための要点を記してありますので、ご使用前に必ずよくお読みになり、正しく使用してください。お読みになった後は、いつでも読める場所に保管してください。また、本書を汚損したり紛失した場合は、お買い上げの販売店にご注文いただき、大切に保管してください。

本書に記載した ⚠ の表示のある注意事項や、機械に貼られた ⚠ の表示のあるラベルは、人身事故等の危険が考えられる重要な項目です。よくお読みになり、必ずお守りください。なお、⚠ の表示のあるラベルが汚損したり、はがれた場合は、お買い上げの販売店にご注文いただき、必ず所定の位置にお貼りください。

⚠安全のために必ずお守りください

作業の前に	農薬の取り扱い
<ul style="list-style-type: none"> ・次に該当する方は、この製品を使用しないでください。 <ul style="list-style-type: none"> ・酒気をおびた者 ・過労、病気、薬物（農薬を含む）の影響その他理由により、正常な防除作業ができない者 ・妊娠中の者 ・満15歳未満の者 ・負傷中の者、生理中の女性等農薬による影響を受けやすい者 ・作業前に各部のパッキンに脱落がないこと、各ネジ部にゆるみがないこと、ホース、肩掛バンドに亀裂、磨耗、破損がないこと等、各部に異常がないことを確認してください。 ・安全性を損なう恐れがありますので、改造しないでください。 ・この製品を他人に貸与、または、譲渡する場合は、必ず取扱説明書を添付し、よく読んでから使用する様に指導してください。 ・けがをする恐れがありますので、タンク内には手を入れないでください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防除、除草用の農園芸用薬品の散布、散水用途以外には使用しないでください。 ・やけど、火災の恐れがありますので、強酸性の薬品・塗料・シンナー・ガソリン・灯油・ベンジン等は絶対に使用しないでください。 ・調合が適切でない薬液は、作物を傷めるだけでなく、人体にも有害になる恐れがあります。薬液の調合の際は、農薬の使用上の注意をよく読み、正しく希釈してから使用してください。 ・安全性を損なう恐れがありますので、35℃以上の温水、発熱性の薬品は使用しないでください。 ・農薬は、必ず専用の保管庫に鍵をかけて保管し、絶対に食品や食器と一緒に保管しないでください。 ・農薬は、誤使用、誤飲の危険がありますので、絶対に別の容器に移し替えないでください。 ・農薬の空容器は、散布液調合時に必ずよく洗い、薬品メーカーの指示に従って、その都度正しく処分してください。空容器を洗った水は、薬害のない方法で処分してください。
作業中	作業後と保管
<ul style="list-style-type: none"> ・農薬の吸入や付着による事故を防ぐため、帽子、保護眼鏡、保護マスク、ゴム手袋、長袖の保護衣、長ズボン、ゴム長靴を着用し、皮膚が露出せず、危険のない服装で作業を行ってください。 ・水道、河川、池、沼などを汚染しないように、また、人体や散布対象物以外のものにかからないよう、風や周囲の状況に充分注意して作業を行ってください。 ・作業中、作業後にめまい、頭痛を生じたり、気分が少しでも悪くなった時は、直ちに作業を中止し、医師の診察を受けてください。 ・薬液を入れた状態でタンクを傾けると、薬液が漏れることがあります。タンクは傾けたり、落下させないでください。 ・コックを停止の状態が必要以上に加圧しないでください。 ・加圧した状態で長時間放置しないでください。 ・作業中に噴口部を清掃する場合は、顔面等に薬液がかかる恐れがありますので、必ずコックを停止状態とし、噴口部を取り外してから行ってください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・空気室～ホースが加圧された状態で接続部を取り外すと、薬液が噴き出す恐れがあります。接続部を外す前に周囲の状況を確認し、コックを吐出状態として、空気室～ホース内の圧力を抜いてください。 ・作業後は手足はもちろん、全身を石鹸でよく洗うとともに、目の水洗いとうがいをしてください。また、作業期間中は衣服を毎日取り替えてください。 ・余った薬液、及び機械の洗浄水は、河川、水源地、池、沼、下水等に流入して被害を及ぼさないよう、薬害のない方法で処分してください。 ・使用後は充分洗浄し、屋内の直射日光が当たらず風通しの良い、子供の手の届かない場所に保管してください。 ・前回使用した薬液がタンク、ホース、噴口等の内部に残っていると、薬害を起こす危険性があります。特に、除草剤散布に使用した後、一般防除作業に使用する場合は、残っている薬液を充分に洗い流してください。

分解図



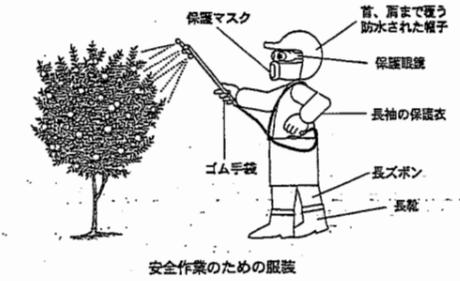
記号	名称	適用		記号	名称	適用	
		5型	10型			5型	10型
1	注意表示ラベル小(689043530)	○		21	ロート 5型用	○	
2	注意表示ラベル小(689042520)		○	22	ロート 10型用		○
3	ピストン一式	○	○	23	ロートパッキン 5型用	○	
4	ピストンバネ	○	○	24	ロートパッキン 10型用		○
5	グラウンドナット	○	○	25	肩掛バンド	○	○
6	L型パッキン	○	○	26	ネームラベル 5型用 (689074090)	○	
7	台ゴムパッキン	○	○	27	ネームラベル 10型用 (689074100)		○
8	5型用空気室一式	○		28	タンク 5型用	○	
9	10型用空気室一式		○	29	タンク 10型用		○
10	空気室上部一式 (Oリング付)	○	○	30	パッキン (11×7)	○	○
11	Oリング (P-20)	○	○	31	握り付ホース一式 1m	○	○
12	空気室下部一式 (Oリング付)	○	○	32	パッキン (15.5×11.5)	○	○
13	Oリング (AS568-132)	○	○	33	ボールコック	○	○
14	Oリング (P-16)	○	○	34	ノズルパイプ 8-350 G1/4	○	
15	10型用吸入弁ジョイントL (Oリング付)		○	35	ノズルパイプ 8-490 G1/4		○
16	吸入弁一式	○	○	36	自在ノズル G1/4	○	○
17	蝶ボルト	○	○	37	Oリング (P-6)	○	○
18	チャンバ押さえ	○	○	38	ノズルキャップ	○	○
19	ロートキャップ 5型用	○		39	取扱説明書 (本書)	○	○
20	ロートキャップ 10型用		○				

※注意表示ラベル及び、ネームラベルが見つからなくなったり、はげたりした場合は、必ず新品と交換してください。

仕様

タイプ	5型	10型
本体寸法(高さ×幅×奥行)	360mm×240×130mm	430mm×290×160mm
タンク容量	5ℓ	10ℓ
ノズル長	35cm	49cm
ホース長	1.0m	
主要部材質	タンク：ステンレス ポンプ部：ポリプロピレン その他：黄銅、軟質塩化ビニル ステンレス、ポリプロピレン	

安全作業の服装



安全作業のための服装

使用方法

①部品の取付

分解図を参考にして肩掛バンド、握り付ホース、コック、ノズルパイプ、噴口を組み付けます。各接続部のネジは、十分に締め付けてください。

- ⚠ ※作業前に接続部のパッキンに脱落がないこと、各ネジ部にゆるみがないこと、握り付ホース、肩掛けバンドに亀裂、摩耗、破損がないこと等、各部に異常がないことを確認してください。
- ⚠ ※安全性を損なう恐れがありますので、付属の握り付ホース、コック、ノズルパイプ、噴口は他の用途(動力噴霧機での使用、コンプレッサでの使用等)には使用しないでください。
- ⚠ ※破損の恐れがありますので、握り付ホースを、無理にねじったり、引っ張ったり、曲げたりしないでください。

②薬液の入れ方

ロートキャップを外し、ストレーナを通して、調合した薬液をタンクに入れます。

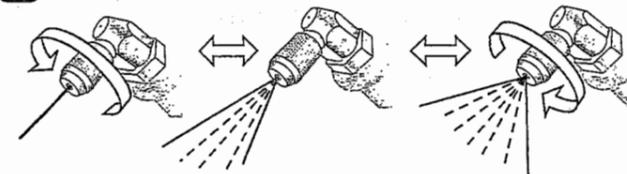
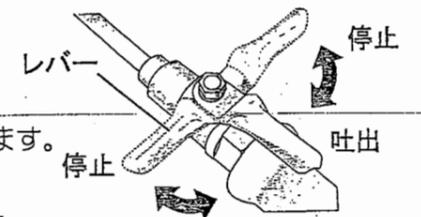
- ⚠ ※薬液は他の容器で調合してください。やむを得ずタンク内で調合する場合は、必ず最初に水を所要量の半分ほど入れてから農薬を入れ、残りの水を入れ希釈してください。また、薬液の調合は、必ず薬品メーカーの指示に従ってください。
- ⚠ ※薬液を入れる前にコックは必ず停止の状態にしてください。
- ⚠ ※薬液を入れたら、ロートキャップを確実に締めてください。
- ⚠ ※薬液を入れた状態でタンクを傾けると、薬液が漏れる場合があります。タンクは傾けたり、落下させないでください。
- ⚠ ※タンクに薬液充填後、自動車などで運搬しないでください。薬液が漏れる可能性があります。自動車等で運搬する時は、薬液を抜いてください。

③作業方法

1. コックの操作

コックは、レバーを回転することによって吐出、停止を切り替えます。

- ⚠ ※噴霧作業中以外は、コックを停止の状態にしてください。



2. 噴霧の調節

ノズルキャップを締め込むと、細かい霧で広い角度に散布します。ノズルキャップをゆるめると、荒い霧で直射状に遠くまで散布できます。

3. 噴霧作業

コックを吐出の状態とし、ピストンを上下させるとノズルから霧が出ます。ピストンを早く上下させると多量の吐出となり、ピストンをゆっくり上下させると少量の吐出となります。噴霧の状態に合わせてピストンの動きを調節してください。

- ⚠ ※コックを吐出の状態にするときは周囲の状況を充分確認してください。作業中以外はコックを停止の状態にしてください。
- ⚠ ※農薬の吸入や付着による事故を防ぐため、帽子、保護眼鏡、保護マスク、ゴム手袋、長袖の保護衣、長ズボン、ゴム長靴を着用し、皮膚が露出せず、危険のない服装で作業を行ってください。
- ⚠ ※作業中にめまい、頭痛を生じたり、気分が少しでも悪くなった時は、直ちに作業を中止し、医師の診察を受けてください。
- ⚠ ※約0.6MPaで作動する安全弁が付いていますが、必要以上に加圧しないでください。
- ⚠ ※加圧した状態で長時間放置しないでください。
- ⚠ ※ハウス内では換気を行いながら作業してください。